

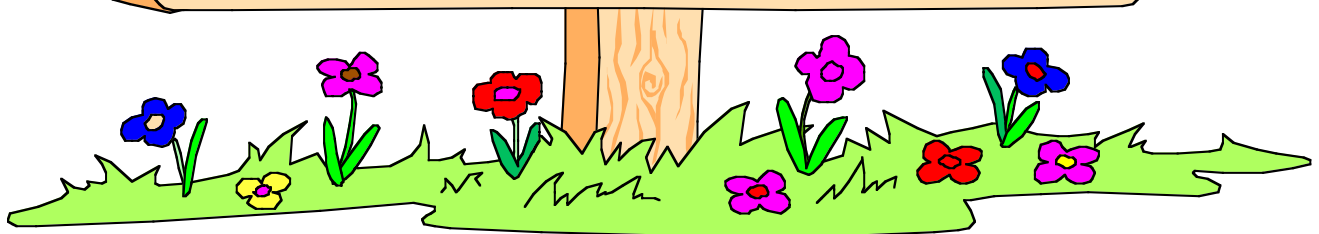


# いっしょに 考えてみませんか

洞薬会（北九州地区勤務薬剤師会）  
中小病院委員会からのお知らせ

- 『中小病院懇話会—より信頼される  
薬剤師をめざして—』のご案内
- リスクマネジメントについて  
考えてみませんか？

— その2 —



# Vol.5

2001年3月号

## ●中小病院懇話会開催のお知らせ

来る、平成13年3月6日(火曜日)、および平成13年3月9日(金曜日)に中小病院懇話会を開催いたします。

今回は、『より信頼される薬剤師をめざして～薬剤師の日常業務を検証する～』というテーマで、平成13年3月6日(火曜日)は、株式会社アステム小倉支店にて、平成13年3月9日(金曜日)は、三菱化学病院にて開催いたします。

ところで、中小病院委員会では、昨年3月より情報誌“いっしょに考えてみませんか？”を発行し、その中で、調剤過誤やリスクマネジメントについて、私たちの考えをお伝えしてきました。また、昨年7月より3ヶ月にわたり開催した『薬剤管理指導業務完全実施の為の懇話会』では、200床以下の施設で頑張っている薬剤師の方々と、薬剤師の日常業務について様々な意見交換ができました。これらの活動の中で、私たちは一貫して、医療の中でより信頼される薬剤師をめざしていくには何をすべきなのかを考え、提案してきました。そして私たちも様々なことを勉強することができました。

また私たちは、昨年から、薬に関係する多数の医療過誤が報道されたことに、大きな愁いを感じてきました。薬剤師に対する信頼がどんどん薄れていってしまうのではないかと大きな危惧を抱いています。

そこで、今回の中小病院懇話会では、患者さんと向き合った医療の中に身を置いている私たち薬剤師の日常行っている業務が、患者さんに信頼されるに値するのか、また医療スタッフに信頼されるに値するのかを、私たちの視点で検証していきます。その中で、疑問点や問題点を指摘し、皆さんと意見交換を行いたいと考えます。そして、信頼される薬剤師をめざすための実際の試みも紹介していきます。

地道ではありますが、信頼は、日々の業務の積み重ねによってのみ得られます。得られた信頼は形あるものではありません。目に見えるものではありませんが、失ってしまった時に、その大きさと重みを感じるものです。

今回の中小病院懇話会で、日常の薬剤師業務が、信頼を得るための積み重ねとなっているのかを、一緒に検証してみませんか。そして、薬剤師として、人間として、より質の高いものを目指すため、私たち薬剤師にできることを模索してみませんか。

今回は、より多くの皆様に参加して頂くために、2会場で、同じテーマで開催致します。また、開始時刻も19時からと、通常より30分ほど遅く始めます。皆様の多数の参加をお待ちしています。

薬の専門家としての薬剤師の信頼について、一緒に考えましょう。



## ●リスクマネジメントについて考えてみませんか？

### － その2 －

今回は、チームで取り組む危機管理という視点で、リスクマネジメントの先駆者である航空業界の試みを紹介します。

『JAS CRM』 (<http://www.jas.co.jp/crm/jascrmtopindex.htm>) というホームページがあります。これは、日本エアシステム(JAS)の航空事故防止対策の取り組みを紹介したサイトです。

航空業界では『航空に携わる者にとって事故を起こさないことは至上命題である』という立場に立ち、事故防止の為の様々な対策を実施してきました。その中で、航空機事故を防ぐには、パイロット個人の知識や操縦技術の向上に加え、操縦室内のパイロット間の意志疎通，連携した行動等が適切に行われることで生まれるチーム全体の総合力が重要であると考えられるようになりました。そこで生まれたのが『CRM (Crew Resource Management)』という考えです。

CRMとは、安全運行を達成する為に、操縦室内で得られる利用可能な全てのリソース(人，機器，情報等)を有効かつ効果的に活用し、チームメンバーの力を結集して、チームの業務遂行能力を向上させるということです。『JAS CRM』では『チームにより、人間の特性のマイナス面(人間の犯すエラー)を補い、プラス面(人間の限りない創造力)を更に延ばすこと』を主眼として、『**エラーマネジメント**』と『**問題解決**』という2つの基本コンセプトを掲げています。そしてチームが有効に機能し、目的を果たす為に、『**JAS CRM スキル**』を定めています。

エラーマネジメントとは、チームでエラーの発生を極力抑えるとともに、もしエラーが発生した場合でも効果的な行動によって、致命的な事象へと連鎖する前に修復させることです。問題解決とは、何らかの不測の事態，困難な状況に直面しても、チームによって創造力を高め最善と思われる解決策を考え出し、その解決策を適切に実行して事態に対処することです。

紙面の関係上、詳細は省かせていただきますが、これらの理論の中で、医療従事者にも当てはまる項目が多くありましたので、それらを簡単にご紹介します。

『航空に携わる者にとって事故を起こさないことは至上命題であ



る』という考えは、私たち医療従事者にとっては『医療に携わる者にとって事故を起こさないことは至上命題である。医療事故を起こすことは患者さんの死と直結している』と言い換えることができます。つまり私たちも航空業界と同じ立場にあるのです。様々な職種が関わって、人の命を預かっているのです。

JAS CRMでは人間が起こすエラーをチームで補うことを提唱しています。その為に必要不可欠なものが『CRMスキル』です。

医薬品を中心に考えた場合、医師が処方し、薬剤師が調剤し、看護婦が患者さんに投薬するという流れの中でエラーが生じ、そのエラーが見逃された時に事故が発生すると考えられます。事故を予防する為には各職種が努力することは勿論ですが、いかにエラーの流れを断ち切るかが問題となります。

JAS CRM スキルでは●人の行動にはエラーが潜んでいることを認識する、●エラーを発見したら早い時期に節度を持って指摘する、●おかしいと思ったら必ず確認をとる、●チーム内がりラックスしており発言しやすい状態を保つ、●意見の対立を感情の対立に発展させない等を提唱しています。

これをそのまま医療の世界に当てはめても、全く不自然ではありません。医師、薬剤師、看護婦の間に良質な人間関係を構築することが重要であることがわかります。仲間を信頼することで、自分が感じた疑問を躊躇なく表現できることが重要です。表現できる環境が必要です。医師・薬剤師・看護婦の関係で、誰かが『おかしい』と気づいた時に、相手に遠慮して口をつぐんでしまっただけでは、エラーを断ち切ることは出来ません。それを支えるのが良好な人間関係・信頼関係の確立だと、JAS CRM スキルは教えます。

チームワークの必要性、良好な人間関係の構築を謳ったJAS CRMは、きっと私たちに大きな問題を提起してくれると考えます。

私たちは今、人間の犯すミスにぶつかっています。その対策を組織としてどのように行ったら良いのか？ 具体的にどの様な方法で行うのか？ その効果はどうか？ 『JAS CRM』は、これらの疑問に答えてくれます。

※『JAS CRM』に興味のある方は、中小病院委員会委員までご連絡下さい。簡単な資料をお送り致します。

## 編集：洞薬会中小病院委員会

池友会小文字病院	山崎信子	北九州市立門司病院	片山 巖
北九州市立総合療育センター	井上和啓	町立芦屋中央病院	筒井浩陽
三菱化学黒崎事業所附属病院	池田美幸	香林会香月中央病院	森友英治

本誌の内容へのご意見、ご質問は、北九州市立総合療育センター  
井上和啓 (☎:922-5596) までお寄せ下さい。